

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年7月12日

【四半期会計期間】 第50期第3四半期(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

【会社名】 株式会社コシダカホールディングス

【英訳名】 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 腰高 博

【本店の所在の場所】 群馬県前橋市大友町1丁目5番地1

【電話番号】 027 - 280 - 3371(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員グループ管理担当 土井 義人

【最寄りの連絡場所】 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービルディング23階

【電話番号】 03 - 6403 - 5710(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員グループ管理担当 土井 義人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第3四半期 連結累計期間	第50期 第3四半期 連結累計期間	第49期
会計期間	自 2017年9月1日 至 2018年5月31日	自 2018年9月1日 至 2019年5月31日	自 2017年9月1日 至 2018年8月31日
売上高 (千円)	45,763,896	49,133,720	61,771,031
経常利益 (千円)	5,640,831	8,026,966	8,207,893
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	3,139,988	4,977,955	4,426,599
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,323,087	5,346,333	5,133,583
純資産額 (千円)	25,946,862	30,905,796	26,697,244
総資産額 (千円)	63,493,361	70,873,484	68,357,480
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	38.61	61.22	54.44
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	37.8	43.6	37.5

回次	第49期 第3四半期 連結会計期間	第50期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年3月1日 至 2018年5月31日	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.07	25.17

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。第49期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

## 2 【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(株式会社コシダカホールディングス)、連結子会社10社(株式会社コシダカ、株式会社カーブスホールディングス、Curves International, Inc.、株式会社カーブスジャパン、株式会社ハイ・スタンダード、株式会社コシダカプロダクツ、株式会社コシダカビジネスサポート、株式会社韓国コシダカ、KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD.、KOSHIDAKA SINGAPORE PTE. LTD.)、非連結子会社7社(KOSHIDAKA R&C Co., Ltd.、株式会社おまねきパーティー、KOSHIDAKA THAILAND Co., LTD.、KOSHIDAKA MALAYSIA SDN. BHD、CFW Asia Management Co., LTD.、Curves Investment Management(Shanghai)Co., LTD.、Curves International UK LTD.)、関連会社1社(株式会社KMVR)により構成されており、カラオケ事業、カーブス事業及び温浴事業を主たる業務としております。

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、堅調を維持する内需とは裏腹に、米中貿易摩擦の深化と長期化により外需が揺らぎ始めました。個人所得が安定的に推移しているため個人消費もここまで好調ですが、消費税増税など今後不安を抱えています。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [カラオケ]

首都圏を中心とした新店開設と既存店の増室、各顧客層の固定客化施策展開、他社に無い新しいサービスの提供及び業務の自動化・効率化の促進を行う一方で、低採算店の整理も行き、国内での一層の成長と収益性の向上を目指しました。

会員サービスアプリ「まねきねこアプリ」は、ポイントシステムやランクアップシステムなどが好評で、登録者数は既に1,736千人となり更に拡大中です。大学生・短大生・専門学校生専用のフリータイムコース、通称「まふ」（まねきねこフリータイム）は、同顧客層の強力な支持を得ることとなり、減らしていた平日夜～深夜の客数呼び戻しにも効果を発揮しております。一定の条件を満たせば小中学生無料となる「まねき de 家族割」もファミリー層より好評を得て、平休日の昼夕の集客に貢献し、各施策共に来店客数全体の増加に寄与しております。

海外では、タイに1号店及びマレーシアに2号店（まねきねこ初出店）を開設し、東南アジア展開を更に推し進めました。

当第3四半期連結会計期間末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比5店舗減少し515店舗となりました。海外店舗数は21店舗（シンガポール10店舗、韓国8店舗、マレーシア2店舗、タイ1店舗）となりました。国内店舗のリニューアルは増室を含み39店舗実施致しました。

この結果、カラオケセグメントの売上高は266億46百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は36億26百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

#### [カーブス]

病気に罹らず介護も要らず、いつまでも健康で楽しく過ごせる人生の実現を目指して、仲間達と一緒に運動を続けられる生涯の習慣作りと場所の提供を行っております。

運動習慣の無い方々に、その必要性和大切さを理解していただき、運動習慣を身につけるように導くことにより、会員数の継続的拡大を図り、店舗網の充実に努めました。

男性専用フィットネスジム「メンズ・カーブスオギノ茅野」を、長野県にオープン致しました。男性向けカーブスとしての試験的出店であり、今後の多店舗展開の可能性を探るべく各種のトライアルに挑戦しております。

当第3四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数（メンズカーブスは含まず）は、前連結会計年度末比53店舗増加し（増加率2.7%）1,965店舗（内グループ直営店63店舗）に、会員数は4千人減少し（減少率0.9%）823千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は209億45百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は45億2百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

[ 温浴 ]

集客施策のブラッシュアップと新コンテンツの導入を図ると共に、設備の省エネ化を更に推し進め、必要なりリニューアルを施すことにより、温浴事業の質量両面に亘る経営改善に努めてまいりました。

この結果、温浴セグメントの売上高は12億40百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益は71百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

[ 不動産管理 ]

2019年2月に前橋駅前の複合施設「エキータ前橋」を取得、その取得関係諸費用39百万円を一括計上致しました。

この結果、不動産管理セグメントの売上高は3億1百万円(前年同期比28.0%増)、セグメント利益は78百万円(前年同期比19.8%減)となりました。

以上により、当社グループ(当社及び連結子会社)の当第3四半期連結累計期間の売上高は491億33百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益76億19百万円(同37.3%増)、経常利益80億26百万円(同42.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億77百万円(同58.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ25億16百万円増加し708億73百万円(前連結会計年度末比3.7%増)となりました。

(流動資産)

流動資産は90百万円増加し200億54百万円(同比0.5%増)となりました。これは主に、現金及び預金が3億53百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は34億78百万円増加し210億30百万円(同比19.8%増)となりました。これは主に、建物及び構築物が28億46百万円および土地が6億88百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は10億76百万円減少し235億50百万円(同比4.4%減)となりました。これは主に、商標権が7億13百万円およびのれんが2億45百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は23百万円増加し62億38百万円(同比0.4%増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が2億74百万円増加した一方で、関係会社株式が1億60百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は24億25百万円増加し508億19百万円(同比5.0%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は12億91百万円減少し135億36百万円(同比8.7%減)となりました。これは主に、未払法人税等が6億7百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億85百万円および預り金が1億99百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は4億1百万円減少し264億31百万円(同比1.5%減)となりました。これは主に、長期借入金6億21百万円減少した一方で、資産除去債務が2億61百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は16億92百万円減少し399億67百万円(同比4.1%減)となりました。

(純資産)

純資産は42億8百万円増加し309億5百万円(同比15.8%増)となりました。これは主に、利益剰余金が40億83百万円および資本剰余金が9億67百万円増加した一方で、非支配株主持分が10億40百万円減少したことなどによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は34百万円であります。

(5) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(千株)
普通株式	307,200
計	307,200

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(千株) (2019年5月31日)	提出日現在 発行数(千株) (2019年7月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	82,300	82,300	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	82,300	82,300		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年3月1日～ 2019年5月31日	-	82,300	-	2,070,257	-	2,060,257

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2019年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己株式) 普通株式 1,700		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 82,289,000	822,890	同上
単元未満株式	普通株式 9,300		
発行済株式総数	82,300,000		
総株主の議決権		822,890	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の株式数には株式給付信託(J-ESOP)により信託口が所有する当社株式980,000株(議決権 9,800個)が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年2月28日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社コシダカホールディングス	群馬県前橋市大友町1丁目5番地1	1,700		1,700	0.00
計		1,700		1,700	0.00

(注) 上記以外に第2四半期会計期間末日現在の自己名義所有の単元未満株式数が16株あります。また、この他に自己株式として認識している信託口所有の当社株式が980,000株あります。これは、経済的実態を重視し、当社と信託口が一体であるとする会計処理を行っていることから、信託口が所有する当社株式を自己株式として計上していることによるものであります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2018年9月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、ひびき監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,926,326	12,279,432
受取手形及び売掛金	3,824,364	3,875,435
商品	944,185	1,202,016
原材料及び貯蔵品	179,193	206,283
その他	3,105,386	2,533,772
貸倒引当金	16,317	42,907
流動資産合計	19,963,138	20,054,032
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	12,493,852	15,340,686
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	3,030,389	2,996,949
土地	1,965,917	2,654,808
リース資産(純額)	30,801	21,987
建設仮勘定	31,412	15,967
有形固定資産合計	17,552,375	21,030,399
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,965,454	1,719,566
商標権	20,559,362	19,845,800
ソフトウェア	791,047	869,955
その他	1,311,693	1,115,526
無形固定資産合計	24,627,557	23,550,848
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	724,085	708,309
関係会社株式	207,981	47,911
長期貸付金	649,405	652,901
長期前払費用	47,986	36,903
敷金及び保証金	3,522,191	3,796,344
繰延税金資産	984,128	922,276
その他	188,217	194,944
貸倒引当金	109,587	121,387
投資その他の資産合計	6,214,409	6,238,203
固定資産合計	48,394,341	50,819,451
資産合計	68,357,480	70,873,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,430,957	2,252,061
1年内返済予定の長期借入金	4,787,866	4,501,996
リース債務	20,452	11,057
未払金	1,337,875	1,145,806
未払費用	1,096,081	1,408,042
未払法人税等	1,873,817	1,265,829
賞与引当金	395,052	201,350
預り金	1,806,372	1,607,255
その他	1,079,163	1,142,821
流動負債合計	14,827,639	13,536,222
固定負債		
長期借入金	19,533,844	18,912,347
リース債務	6,721	-
繰延税金負債	5,028,123	4,901,456
資産除去債務	1,981,839	2,243,734
その他	282,069	373,926
固定負債合計	26,832,597	26,431,465
負債合計	41,660,236	39,967,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	2,335,577	3,302,786
利益剰余金	21,115,366	25,198,821
自己株式	301,538	301,538
株主資本合計	25,219,662	30,270,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,171	39,523
為替換算調整勘定	402,722	595,946
その他の包括利益累計額合計	436,893	635,470
非支配株主持分	1,040,687	-
純資産合計	26,697,244	30,905,796
負債純資産合計	68,357,480	70,873,484

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高	45,763,896	49,133,720
売上原価	33,752,497	34,014,421
売上総利益	12,011,398	15,119,298
販売費及び一般管理費	6,464,031	7,500,040
営業利益	5,547,367	7,619,258
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,816	11,368
為替差益	34,151	-
店舗移転補償金	41,000	-
解約金収入	-	441,120
その他	178,843	116,537
営業外収益合計	263,810	569,025
営業外費用		
支払利息	28,529	54,398
為替差損	-	34,585
貸倒引当金繰入額	-	11,379
支払手数料	102,200	26,500
その他	39,617	34,454
営業外費用合計	170,346	161,318
経常利益	5,640,831	8,026,966
特別利益		
固定資産売却益	380	3,252
特別利益合計	380	3,252
特別損失		
固定資産除却損	53,489	47,482
減損損失	22,508	59,381
関係会社株式評価損	22,550	212,548
特別損失合計	98,548	319,411
税金等調整前四半期純利益	5,542,663	7,710,806
法人税、住民税及び事業税	2,073,674	2,733,685
法人税等調整額	96,906	170,636
法人税等合計	2,170,580	2,563,049
四半期純利益	3,372,083	5,147,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	232,095	169,801
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,139,988	4,977,955

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	3,372,083	5,147,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,830	5,352
為替換算調整勘定	58,826	193,224
その他の包括利益合計	48,995	198,576
四半期包括利益	3,323,087	5,346,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,090,992	5,176,532
非支配株主に係る四半期包括利益	232,095	169,801

【注記事項】

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
減価償却費	2,570,572千円	2,821,136千円
のれんの償却額	338,695	196,823

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)

## 1. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年11月24日 定時株主総会	普通株式	370,342	18.00	2017年8月31日	2017年11月27日	利益剰余金
2018年4月10日 取締役会	普通株式	411,491	20.00	2018年2月28日	2018年5月11日	利益剰余金

- (注) 1. 2017年11月24日定時株主総会の決議に基づく配当金の総額には、株式給付信託(J-ESOP)導入に伴い設定した信託口に対する配当金4,410千円を含めております。
2. 2018年4月10日取締役会の決議に基づく配当金の総額には、株式給付信託(J-ESOP)導入に伴い設定した信託口に対する配当金4,900千円を含めております。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末日後となるもの

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月27日 定時株主総会	普通株式	411,491	5.00	2018年8月31日	2018年11月28日	利益剰余金
2019年4月11日 取締役会	普通株式	493,789	6.00	2019年2月28日	2019年5月13日	利益剰余金

- (注) 1. 2018年11月27日定時株主総会の決議に基づく配当金の総額には、株式給付信託(J-ESOP)導入に伴い設定した信託口に対する配当金4,900千円を含めております。
2. 2019年4月11日取締役会の決議に基づく配当金の総額には、株式給付信託(J-ESOP)導入に伴い設定した信託口に対する配当金4,900千円を含めております。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末日後となるもの

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年12月に連結子会社㈱カーブスホールディングスの株式を追加取得いたしました。この結果、資本剰余金が967,208千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,302,786千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	23,606,744	20,710,708	1,210,889	235,553	45,763,896	-	45,763,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	23,606,744	20,710,708	1,210,889	235,553	45,763,896	-	45,763,896
セグメント利益又は損失( )	2,282,910	3,732,218	60,045	97,800	6,172,975	625,608	5,547,367

(注) 1. セグメント利益の調整額 625,608千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間に「カーブス」セグメントにおいて、Curves International Holdings, Inc.他の株式を取得し、子会社化しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,597,376千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	26,646,094	20,945,543	1,240,514	301,568	49,133,720	-	49,133,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	26,646,094	20,945,543	1,240,514	301,568	49,133,720	-	49,133,720
セグメント利益又は損失( )	3,626,043	4,502,255	71,738	78,480	8,278,518	659,260	7,619,258

(注) 1. セグメント利益の調整額 659,260千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がないか、四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

## (有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

## (デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	38円61銭	61円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	3,139,988	4,977,955
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	3,139,988	4,977,955
普通株式の期中平均株式数(千株)	81,318	81,318

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 株主資本において自己株式として計上されている信託口所有の自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間 980,000株、当第3四半期連結累計期間 980,000株であります。  
 3. 当社は、2018年6月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2019年4月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・ 493,789千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・ 6円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・ 2019年5月13日

(注) 2019年2月28日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年7月11日

株式会社コシダカホールディングス  
取締役会 御中

### ひびき監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小川 明

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 林 直也

業務執行社員 公認会計士 黒崎 浩利

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コシダカホールディングスの2018年9月1日から2019年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年3月1日から2019年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2018年9月1日から2019年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コシダカホールディングス及び連結子会社の2019年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。